

# INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市狐島4288番地 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
会長：小川秋實 副会長：唐澤敏治 幹事：小向誠一



2014-2015 国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを

Light up Rotary

2014-2015 RI会長  
ゲイリーC.K.ホアン  
台湾台北



第1282回 中川博司ガバナー公式訪問例会 平成26年9月16日(火)

■ 点 鐘 12:30



■ ソング 伊那中央ロータリー讃歌 馬場秀則ソングリーダー

■ ゲスト・ビジター紹介

- ・RI第2600地区ガバナー 中川博司様
- ・上伊那グループガバナー補佐 塩澤崇様



■ 会長談話 小川秋實会長



ロータリーの文章は、英文を日本語に訳したもので、直訳調で、明快だとはいえないものが多いと感じます。私の試訳を示します。

「ロータリーの目的」の主文、「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」は、やや直訳調で、言葉の据わりがよくありません。やや意識になりますが、「ロータリーの目的は、有益な事業の基本に奉仕の理念を据え、これを育むことである」とすると、すっきりした表現になります。主文後半の「具体的には、次の事項を奨励することにある」は、「具体的には以下の項目を行う」としたほうが簡明です。

付帯説明第1項、「知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること」は、直訳調で、意味が分かりにくい文です。元の英文を見ると、重点は「奉仕の機会」ではなく、「知りあいを広める」ことです。したがって、「奉仕のきっかけをつかむため知り合いを増やすこと」とすると分かりやすくなります。

付帯説明第2項は3つの文から成っています。第1文の「職業上の高い倫理基準を保つこと」は、ひらたく言えば、「道徳をわきまえて仕事をする事」です。第2文の「役立つ仕事はすべて価値あるものと認識すること」は、堅苦しい表現です。ひらたく言えば、「世に役立っている仕事を褒めたたえること」です。第3文の「社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする事」は、言語明瞭・意味不明です。元の英文、それに基づく「職業奉仕」の英文、それにフランス語訳をみると、決して難しいことを言っているのではなく、日本語訳が意味を取り違えているようです。元の英文の意味は、「各自の仕事を奉仕の場にすること」だと思います。

付帯説明第3項の「ロータリアン一人一人が、個人として、また事業及び社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること」は、意味は分かりますが、硬い感じがします。「ロータリアンは、自らの個人生活、職業生活、社会生活のなかで、奉仕の理念を実現すること」と言い換えると素直な表現になります。

付帯説明第4項の「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」のなかの「奉仕の理念で結ばれた職業人の世界的ネットワーク」は、「世界のロータリー」のこ

次頁へ続く

とでしょう。したがって、「世界のロータリーと手を握り、国際理解、親善、平和を推し進めること」とするほうが分かりやすくなります。

ロータリーの文章は、美しい日本語とまで言いませんが、意味がずっと分かる日本語であって欲しいものだと思います。

## ■ ニコニコボックス

- ◆小川秋實 中川ガバナーの公式訪問をありがとうございます。ご指導をよろしくお願い致します。
- ◆下井達典 伊那西インターアクトの留学生交流会が13日に開催されました。今年も下伊那農業インターアクトが参加し総勢63名でした。参加の皆様には御苦勞様でした。中川ガバナー・塩澤ガバナー補佐の御来訪を歓迎します。
- ◆小林富夫 なかなか出席できなくて申しわけございません。  
(発表 伊藤幸明委員長)

## ■ 幹事報告

小向誠一幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



## ■ 委員会報告

### ・伊那西IAC留学生交流会の報告 矢野昌史青少年奉仕委員長

9月13日(土)伊那西高校IACと信州大学留学生の交流会が開催されました。

留学生5名、下伊那農業高校IAC 11名・顧問教師2名、伊那西高校IAC 35名・顧問教師3名、当クラブの小川会長・小向幹事・唐澤稔国際奉仕委員長・下井青少年奉仕副委員長・中川会報副委員長・矢野の6名と、伊那ロータリークラブ平澤泰斗会員、全員で63名と大勢で行われました。

留学生に母国の言葉を教わったり、遊び・おやつ・国歌などを紹介して頂き、生徒も積極的に質問などして充実した交流会が出来たと思います。(巻末の別冊をご参照下さい)

## ■ 出席報告

会員数33名 出席免除会員8名 長欠会員2名  
本日出席者19名 事前メイク3名 出席率81.48%  
前回出席率 修正なし (発表 熊谷健委員)

## ■ 伝達式

国際ロータリー会員表彰担当チームより、  
新会員を推薦した馬場秀則会員・小向誠一会員・唐澤敏治会員に認証品が贈呈されました。



## ■ ガバナー紹介

RI第2600地区上伊那グループガバナー補佐 塩澤崇様より、ガバナーの紹介を頂きました。



中川博司ガバナー略歴

職業：株式会社イナリサーチ 代表取締役会長

所属クラブ：伊那ロータリークラブ

ロータリー歴：1990年10月入会 2009～2010年度 会長

## ■ ガバナー講話



「クラブ訪問に寄せて」 RI第2600地区ガバナー 中川博司様

自己紹介を申し上げます。私は18歳まで名古屋で育ちましたが、その後70歳になる今日まで、その大半は長野県伊那市で暮らしており、29歳でイナリサーチという医薬品開発支援の会社を立ち上げて、現在は会長という立場で会社に関与し、ロータリー歴としては伊那RCに所属して30年近くになります。ロータリアンとしては誠に不熱心な会員ではありましたが、何故かガバナーの責務を負うことになってしまいました。1年間、どうぞ宜しくお付き合いいただきますようお願い申し上げます。

さて、本年度のRI会長、ゲイリーC. K. ホアン氏は、「ロータリーに輝きを」というRIテーマのもと、RI戦略計画のさらなる推進や会員増強、RI会長賞やロータリーデーの推進など、ロータリアン一人一人の活動努力によってロータリーが再び輝きを取り戻すよう強い決意を表明されています。それを受けて私は、「明日のために今こそ行動を」を地区の標語として掲げ、地区として行うべき7つの重点分野を地区プログラムに示しました。

これらは、クラブ会長へのミッションでもあり、行動のための指標です。したがって私は、この指標をもとに常に「どうですか、前進していますか」と問いかけることになります。

新会員に対する研修やクラブのIT化、クラブ間協働による奉仕活動の推進など(地区プログラムご参照)通常の年度にはない新たなミッションもありますがいずれも極めて重要です。1年で出来ることはほんの限られた範囲ですが、それを積み重ねることで、ロータリーの確かな前進が見えてきます。

「超私の奉仕」はもっとも核心的なロータリアンのマインドです。皆様には大変ご苦勞をおかけしますが、あなたもロータリーの歴史の一步を標す存在となつてくださるよう切にお願い申し上げます。

## ■ 点 鐘

13:30

次回例会 9月30日(火)

9:00集合 ゴルフコンペ(塩嶺カントリークラブ)

18:30点鐘 夜間例会(海老屋料理店)

## 伊那西高校 IAC と信大留学生との交流会事前研修会

8月30日(土)伊那西高校にて、「伊那西高校 IAC と信大留学生との交流会」に向けての事前研修会が行われました。主な研修内容は下記のとおりです。

1. ロータリアンによる、交流会を前にして一国際理解には何が要るか、取組姿勢は、注意点は、等の講話。
2. 班別で事前に調べた学習シートを班内ですり合わせ、資料を完成させる。
3. 名札、配布資料、お土産(風鈴)の作成。

## 第12回伊那西高校 IAC(インターアクトクラブ)と信大留学生との交流会

国際理解を目指して！

### ■ 参加者

- ・信大農学部留学生  
    バングラデシュ1名、ボツワナ1名、中国2名、台湾1名
- ・伊那西高校 IAC 35名、顧問教師 3名
- ・下伊那農業高校 IAC 11名、顧問教師 2名
- ・伊那中央 RC 6名      ・伊那 RC 1名

9月13日(土)、伊那西高校にて、下伊那農業高校 IAC も参加し、信大農学部留学生との交流会が行われました。

### ◆ 開会行事



北澤萌伊那西高校 IAC 会長より、「事前学習で疑問に思ったことを留学生講師に聞き、他国についての知識と理解を深めましょう」。小川秋實伊那中央 RC 会長からは、「他国を理解し尊重することが国際交流の基であり、その推進が国際平和につながる。今日一日頑張って国際交流と理解に励んでください」と挨拶。

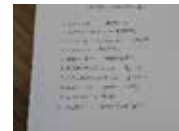
### ◆ 学校紹介・校内案内

初対面での硬さをほぐすために、伊那西高校内を伊那西高校 IAC 生が案内。留学生講師からも質問をし、お互いに会話の糸口を模索。



### ◆ 留学生より母国の挨拶、会話を学習

バングラデシュ、ボツワナ、中国、台湾の4テーブルに分かれ、留学生講師から母国語での挨拶、簡単な会話を学習。そして、事前学習での疑問を中心に会話を弾ませ、国際交流は佳境に入りました。



### ◆ 留学生による母国の紹介



昼食を挟んで、各国留学生講師より、自国の地理、宗教、おやつ、遊び、ゲーム、国歌などを紹介し、自国をプレゼンテーション。

こどもの遊びや食文化は、気候や風習により全く違うと思ったが、日本でも馴染みのある物もあり、親近感が湧いた。



そして、宗教、国旗、国歌の説明を受けることにより、その国の成り立ちや国家感が分かり、その国への理解が進みました。

また、全体の質問を受け付ける中で、成人年齢・選挙権年齢は、バングラデシュ 18 歳・18 歳、ボツワナ 18 歳・21 歳、中国 18 歳・18 歳。台湾は 20 歳・20 歳。と、各国で違っていった。これは、何歳から社会的責任を負うかによって違うのだろう。



テーブルごとの報告、参加しての感想は、「日本人には難しい発音があり難しかった」、「風習・文化の違いに驚いた」、「積極的に質問でき、和やかな雰囲気を作ることができた」、「書物、ネットを使用して、事前に色々調べたが、留学生との双方向による生の声に勝るものはないと感じた」、「留学生講師は 1 人で何人もの生徒を相手にしなくてはならず大変だったと思うが、普段接することがない色々なことを聞くことができ、興味がさらに増した。これからも色々調べたい」、「違った視点を持つ大切さを知った」、でした。

#### ◆ 閉会行事



閉会行事では、IAC 手作りのお土産をお礼として手渡した後、小川伊那中央 RC 会長より、「言葉がわからないときは絵を描いて意思疎通を図れば良いのです。これからは、積極的に外国の人と接し、多くを学び取ってください」と講評。北澤 IAC 会長からは、「留学生講師・伊那中央 RC への感謝の言葉に続き、IAC 活動を楽しむことが自分の血となり肉となっている。今回の交流会も含め、今までの経験を自分の将来に生かしたい」と挨拶し閉会。

#### ◆ 新旧役員交代式 北澤会長より小田原会長へ



引き続き行われた新旧役員交代の挨拶の中で、旧役員より、「この 3 年間、IAC の活動を通じて多くの人と関わった。悩んだこともあるが、相手の立場で物事を考える力がついたと思う。入部当時は、奉仕をして手助けをしているという感覚だったが、今は、奉仕をさせていただいていることに感謝の念を覚えている。IAC の活動は我々の成長に役立ちます。

これからも楽しんで奉仕活動に励んでください」と退任挨拶。新役員からは、「先輩諸氏が築き上げた奉仕の心を引き継ぎ、更なる飛躍を目指します」と挨拶。



IAC プログラムは青少年の育成に役立っていると実感しました。

